

常総市の被災経験と平時の取り組みについて

茨城県 常総市 福祉部 秋葉 利恵子



南北 約20km、東西 約10km



救助者数の状況

機関名	救助種別	
	ヘリコプター	地上部隊
自衛隊	723人	1,292人
海上保安庁	99人	—
警察	209人	193人
消防本部	308人	1,434人
計	1,339人	2,919人
合計	4,258人	

救助の様子（常総市撮影）



◇こんなに（ひどく）なるとは思わなかった。

⇒テレビを見ていたら、畳が浮いてきて気が付いた。

⇒テレビを見て大変だと思い、外を見たら道路が川みたいになっていた。

もう外には行けないと思い2階に避難した。

◇避難所まで行けそうにない。

⇒外はシルバーカーを押して歩いている。シルバーカーがあっても何百メートルも歩けない。

いざとなれば、2階に逃げれば大丈夫だと思った。

ピーク時の避難者数 (H27.9.11時点)

	避難所数	人 数
市内	26カ所	4,501人
市外	13カ所	1,722人
合計	39カ所	6,223人

3割弱



ライフライン

種別	状況 (件数等)	復旧状況
電気	停電 (約11,200世帯)	H27.10.26 完全復旧
水道	石下東部浄水場 (約4,400軒断水) 相野谷浄水場 (約7,400軒断水)	H27. 9.21 仮復旧
電話	NTT光回線 (約5,000回線不通)	H27. 9.17 通信障害回復
道路	国道294・354号線及び 主要幹線道路 (通行止め)	H27.12.18 片側通行可 H28. 2. 8 全面通行可
鉄道	関東鉄道 常総線 (全線運休)	H27.10.10 全線運転再開 H27.11.16 通常ダイヤ復旧

避難所の様子 (常総市撮影)

1ヶ月半後

10日後
(ポンプ稼働2週間後)

1週間後

3ヶ月後
半年後

1ヶ月後
2ヶ月後

- ◇避難所に自ら避難してきた方は、ほとんどの方が内服薬等を持って来なかった。
- ◇何の薬を飲んでいるのか不明。かかりつけ医の医療機関もかかりつけ薬局も被災。電子カルテも動かない。
⇒情報を集めて処方箋を書いてもらうまで3日。
- ◇家では酸素使っているんだけどよ・・・。
- ◇自宅と避難所は違う。つかまるところがない。
トイレが洋式とは限らない。
- ◇家族の連絡先？家に帰らないとわからない。
- ◇介護支援専門員が誰なのかわからない。

◇9月15日～20日

被災地域の民生委員・介護予防推進員役に連絡・訪問

(職員)

◇9月20日～24日

要援護者台帳に基づき訪問：対象者796名

(県の保健師による訪問)

◇9月24日～30日

要援護者台帳漏れ者：対象者169名

(様々なボランティアによる訪問)

◇10月10日～25日，その後，月1回2年6ヵ月間

問題行動等について相談のあった者：対象者126名

(県内認知症疾患医療センターの職員)₆

〔こんな相談も〕

- ◇階段から夫を突き飛ばし，落ちてケガをした夫を放置。
- ◇私の年金を使って別な女と楽しんでいる。
- ◇息子の嫁をスリッパで叩いた。
- ◇夜中におかゆを炊けと家族を起こす。従わないと杖でたたく。
- ◇ツバメだと思われたら大変だから・・・。
- ◇様々な容器に水を汲んで外に並べる。
- ◇誰にも言えないけど「水害は宇宙からの攻撃」
- ◇醤油を返せ。

【ソフト】大規模水害時の広域避難

令和元年5月30日鬼怒川・小貝川下流域の13市町において

「大規模水害時の広域避難に関する協定」を締結



＜協定締結市町一覧＞

常総市・古河市・結城市・龍ヶ崎市・下妻市・
取手市・つくば市・守谷市・筑西市・坂東市・
つくばみらい市・八千代町・利根町



【ソフト】 情報伝達手段の多様化

防災行政無線

緊急速報メール

Yahoo!防災

VACAN

防災ラジオ

登録制メール

公式SNS

テレフォン
サービス



別紙（申請書で同意をいただく内容）

常総市在宅医療・介護連携電子ネットワーク事業とは （電子@連絡帳 JOSO システム）

① 電子@連絡帳JOSOシステム（通常時）

診療・検査や日々のケア等の情報共有

この事業は、地域の医療・介護関係者の情報共有を支援するためのものです。

市役所が登録した支援対象者の基本情報を基に、関連する医療機関や介護サービス事業所が、電子@連絡帳JOSOシステムを活用し、個人情報の保護を厳重に図りながら情報共有を行います。診療・検査や日々のケア等から得た情報なども共有することにより、支援対象者に質の高い医療・介護サービスの提供ができる環境づくりを目的としています。

② 災害時安否確認

災害時の安否確認への使用

災害時、電子@連絡帳 JOSO システムは、要介護認定者等安否確認対象者情報として利用されます。安否確認を行う協力者に対し、対象者の住所・氏名・生年月日などの情報を開示します。

③ 救急情報連携

救急搬送時の情報の提供

救急搬送が必要となった場合、迅速な応急処置や早期搬送を目的として、電子@連絡帳 JOSO システムが保有する情報を消防署職員が確認します。

電子@連絡帳JOSOシステムのイメージ



【想定事例1】

最近、もの忘れが気になり出した一人暮らしのAさん。時々、どの薬を、いつ飲めば良いのか解らなくなることがあります。

どれだっけ？
何個だっけな？



ケアマネジャーは『JOSOシステム』を使って、かかりつけ医のJ医師に報告をしました。



J先生へ
Aさん、時々、お薬が解らなくなる時があるようです。いつ、どのお薬を飲むのか？きちんと飲んだか不安になることもあるようです。

JOSO システム

ケアマネジャー



次の診察日、J医師から「お薬をひとつにまとめてみましょうか？」と提案されたAさん。医師から聞かれたので、気になっていたもの忘れも、医師に相談することができました。



【想定事例2】

一人暮らしのBさん。近所に身寄りはなく、息子さんも親戚も遠方に住んでいます。デイサービスを利用中に、大きな地震が発生。Bさんの息子さんは、安否を確認したくて自宅やケアマネジャーに連絡をしますが電話がつながりません。

おふくろ、
無事かな？



※被災地には、外部からの電話が集中するためかかりにくくなります。

Bさんが通っているデイサービスでは、『JOSOシステム』に登録しているので、『JOSOシステム』を使用し、Bさんの無事をケアマネジャーに報告。ケアマネジャーから息子さんに連絡が入りました。



JOSO システム

ケアマネジャーさんへ

Bさんはデイサービス利用中です。おケガもなく無事すごされています。息子さんへのご連絡をお願いします。

【想定事例3】

一人暮らしのCさんが自宅で意識を失い倒れているところを、近所の方が見つけて救急車を呼びました。救急隊は到着すると、『JOSOシステム』に登録されている家族の電話番号に連絡。同じく登録されていた主治医のいる病院に連絡をして速やかに救急搬送、家族と合流して早期に治療が受けられたため大事にいたりませんでした。



【ソフト】電子@連絡帳JOSOシステム

電子@連絡帳JOSOシステム 要援護者マップ
電子@連絡帳JOSOシステム 地域支援マップ

情報開示

常総市

情報収集

安否確認

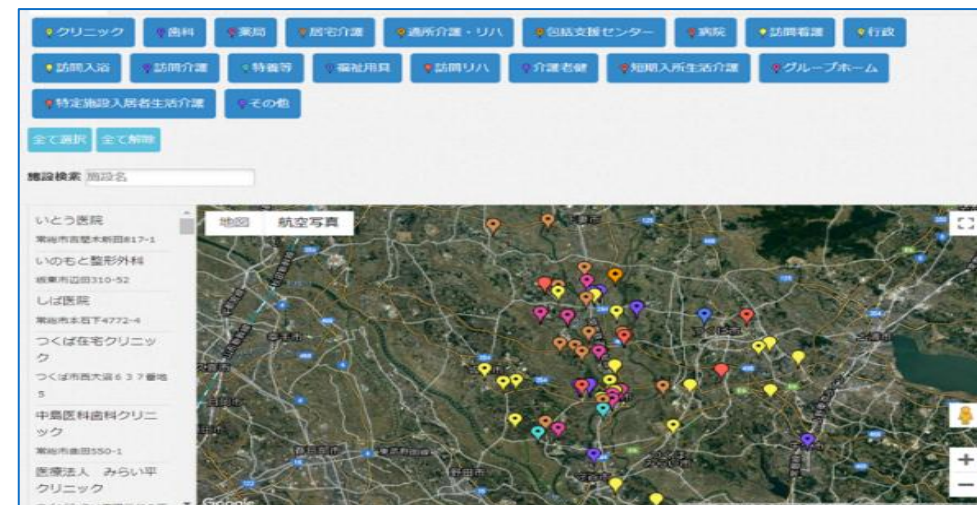
被災状況

受入れ情報

情報収集

医療機関

介護サ
ービス
事業所



【ソフト】 みんなでタイムラインプロジェクト

常総市内の2地区がモデル地区となり『マイ・タイムライン検討会』を実施。

住民それぞれの避難行動を整理した「マイ・タイムライン」が作成されました。

マイ・タイムラインとは… 別紙1

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

	国	市	住民等
3日前			テレビの天気予報を注意。 ハザードマップで避難所を確認！ 非常持出袋の準備 足りない物を買出し！ 川の水位をインターネットで確認。
洪水発生	洪水予報	避難準備	おじいちゃんと一緒に 早めの避難開始！
	洪水予報	避難勧告	避難所に避難完了

マイ・タイムラインの検討の過程で…

- ① リスクを認識できる
 - 自分の家が浸水してしまう
 - 避難所まで遠い など
- ② 逃げるタイミングがわかる
 - いつ逃げる？
 - 誰と逃げる？
 - 危険な場所をよけて逃げるには？
- ③ コミュニケーションの輪が広がる
 - 検討会での意見交換などで、知り合いになれる
 - ご近所とのつながりが強く、太くなる

マイ・タイムラインができると…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ② 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会 別紙2

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- 過去の洪水を知る
- 地形の特徴を知る
- 水害リスクを知る

自分達の住んでいる地区が浸水するのを知りましょう。

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- 洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- タイムラインの考え方を知る
- 洪水時の自らの行動を想定

いつ逃げはじめたらいいのかなあ？

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

- 一人ひとりのタイムラインを作成

これで、逃げるタイミングがわかったわ！

モデル地区

今年度は、**若宮戸地区**、**根新田地区**をモデル地区として、検討会を進めます。

若宮戸地区 マイ・タイムライン検討会

根新田地区 マイ・タイムライン検討会

学識者

- 筑波大学システム情報系社会工学科 川島宏一 教授
- 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤哲司 教授・機関長
- 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学科 白川直樹 准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

■9月10日を「常総市防災の日」に制定

常総市防災の日前後に市内小中学校一斉防災教育・訓練を実施

⇒地域で助け合う心を学んでいます。

子どもたちが自発的・能動的に防災に取り組むことができるよう「防災教育日本一」の実現を目指します。



クロスロード・ゲーム



DIG(災害図上訓練) 13

令和5年度より市内小中学校を対象に実施しています

「楽しんで、競い合って身体で覚える」ことをテーマに、災害時の自助・共助、災害後の復旧・復興の際に想定されるシーンをスポーツとして身につけることで、もしもの時に備えるプログラムです。



BOU.LEAGUE

防災技術と体力を競う、防災学習スポーツプログラム。
災害時に役立つ様々な防災の知識と技を、
競技を通して、実際に体験しながら楽しく学ぶことができます。

競技	特徴
競う・楽しむ	防災競技大会と同時に行われます
災害前 備える・知る	防災知識トレーニング
災害前 自分の身を守る	キャタピラエスケープ
災害時 助けを呼ぶ	レスキュータイムアタック
災害時 助けを呼ぶ	ウォーターレスキュー
災害時 助けを呼ぶ	バケツリレーシュート
災害後 復旧・復興	キャットサイクルレース
災害後 復旧・復興	ゴー・ゴー・キャリー

○キャタピラエスケープ



○レスキュータイムアタック



○防災知識トレーニング



○キャットサイクルレース



※「防災スポーツ」は株式会社シンの登録商標です。

親子防災教室（防災キャンプ）

「楽しみながら防災に備える」「生き抜く力を身に付ける」ことをテーマに、テントやベッドの設営、災害用トイレの使い方を学ぶなど、キャンプ体験を通じて自然災害に備えるイベントを実施しています。



あすなろの里



くにあきの森
(常総市政策アドバイザーの清水国明さんと)



RECAMP常総

【まとめ①】 災害時の保健活動での課題と対策

いつもの道具が使えない

⇒車, 道路, 電話,
パソコン, データ,
電子カルテ, FAX等

普段の連携ツールが絶たれる
相談できない。情報が無い。



①自分で考え, 判断するしかない。

職員も被災者・避難者

⇒どこで被災するか判
らない。

職員が全員揃うとは限らない
通れない。預けられない。



②集まったメンバーだけで対応するしかない。

混乱は被災地だけではない

⇒普段自立している人も
混乱する。早急な対応
が必要な人が一度に複
数人である。

認知症, 精神疾患, 要介護, 離脱症状・・・
「どうにかならない?！」



③抱え込まない。支援者を頼る。

【まとめ②】 災害に備えた平時の取組と現在の課題

①自分で考え、判断するしかない。

⇒ マニュアル等を全員が共通理解。全庁的な周知。

水害後に保健師の活動マニュアルを作成。今年度、保健所を会場に7月から開始された「健康づくり指導者研修会テーマ別研修の災害時保健活動」の研修に合わせ見直しを行う。

②集まったメンバーだけで対応するしかない。

⇒ 保健師の専門性を全庁的に理解。

産休・育休、時間勤務等の職員が多く、夜間の招集に対応できる職員は半数以下の見込み。保健師でないとできないことと一般職の職員でもできることを切り分けられるように、一般職の職員に保健師の専門性を理解してもらう必要がある。

③抱え込まない。支援者を頼る。

⇒ 日頃の連携強化（災害時の支援にも影響する）

人事異動等により各機関との連携が薄れる。顔つなぎも重要な引継。支援者は県や医療機関等ばかりではない。見極めは難しいけど、企業やNPO法人、市民、ボランティアの中にも支援者がいる。